

小噺・お笑いサロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ) 落語の歴史

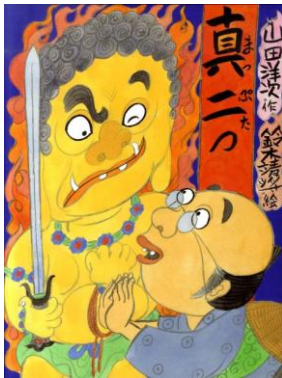
落語歳時記シリーズ

長月(9月)の落語 「真二つ」^{まっふたつ} 山田洋次 作



神田錦町の甚兵衛さん。古道具屋さんで、小心者で、お人好し、一生懸命に働くんですが、損ばかりしている。人に勧められて、成田の不動様へ商売繁盛の祈願に行く。型通りのお参りして、「不動明王様、なにとぞご利益を・・・いただけましたら、必ずお礼参りをいたします」お参りを済ませると、そのまま江戸へ向けて、帰ることになりました。

途中、百姓家の縁先を借りて、弁当を使わせてもらう。庭を見ると沢山の太根が竿に干してある。その中の一本の竿みると、刃がついている薙刀を、竿代わりに使っている。銀杏の葉が落ちてくると、その刃に触れると、真二つに切れた。トンボが飛んできて、その刃にとまると、真二つ! ?。その薙刀をよく見ると、「魚切丸」という銘がある



名刀。江戸にもっていったら30両で売れる代物だ。百姓がそんな価値のあるものとは知らずに使っているのだらうと思い、甚兵衛さんは、杖代わりに使いたいからと言って、騙してその薙刀を安く2分で譲ってもらう。高価な名刀を安く仕入れられたのも、成田さんのおかげ・ご利益だと成田さんに「お礼参り」に舞い戻った。その際、薙刀を百姓に預けた。

薙刀を預かったお百姓は気を使って、薙刀の刀身にとって、安全に使いやすいようにしておいた。戻ってきた甚兵衛さんが、それを見て「刀身はどうした?」「危ないので、裏の池に投げて捨てたよ」

「その池は何処だ」、急いでその池まで来てみると、鮒がみんな、片身になって泳いでいる。

「ああ! 魚切丸が・・・」と甚兵衛さん思わずザザザと池の中に入って行きますと、向こう岸に甚兵衛さんが真二つになって上がってきた。

■ 二つ目 (小咄の稽古)

小ばなしの話し方の基本

小ばなし集①初級編のおさらい

「君の座右(ざゆう)の銘は?」「はい、お陰様で左右 1.5 です」
(妻)「ねーあなた、今日は結婚記念日よ」(夫)「お前のか?」

この後皆さまの「小ばなし」披露

■ 大喜利

今回も 謎かけ で、お題は「秋の味覚」「満月」

次回は2026年10月5日(月)

次回のなぞかけのお題は「日本酒」「読書」